

# 区長所信表明

## 項 目

- 1 はじめに
- 2 これまでの取り組みと成果について
  - にぎわいと活力のまちについて
  - いきいきとした個性あるまちについて
  - 暮らしやすいまちについて
  - 区民の活動と区政運営の推進について
- 3 平成 23 年度予算案について
- 4 おわりに

# 一般質問

2月14日の本会議において、区長・教育長に対し、各会派の代表8名による一般質問が行われました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



台東区議会自由民主党

じつかわ とし たか  
**実川 利隆**

### 総合防災力の向上について

**問** ①減災対策の重要性と課題をどう認識しているか。②地震計の活用と効果を伺う。③災害発生時の職員の非常配備態勢及び訓練について伺う。④洪水ハザードマップをどう活用しているか。⑤地下街の浸水対策について、関係機関とどのように協議し、取り組んできたか。**答** ①死者の半減、避難者の減、外出者の早期帰宅を目標とし、地域の防災力の向上、建物の耐震化・不燃化及び帰宅支援の強化に取り組んでいます。②震度4以上の揺れを観測すると、防災行政無線から地震の発生を知らせる放送が自動的に流れます。また、東京都の地震計ネットワークと連携し、災害発生直後の初動活動

に活用されます。③指定参集職員を定め、定期訓練や総合防災訓練時に応急対策活動の訓練を実施しています。④全世帯に配付しており、堤防決壊時の浸水状況について注意喚起を図っています。⑤下水道の能力向上や雨水貯留槽の整備について、国や東京都に対し要望活動を行ってきました。

### 子どもたちの教育における郷土の優れた文化の活用について

**問** 区内の文化施設と学校が連携を図り、文化・芸術を意図的・計画的に学習できる環境を整えるべきではないか。**答** これまでも授業等で、区内の文化財や文化施設の活用を図ってきました。中でも上野の山の文化施設については、連携を図り有効に活用しています。**問** 郷土の歴史や文化を学び、郷土への誇りを育む機会として、「子どもたちによる観光ボランティア」を提案するが、どうか。**答** 子どもたちが歴史や伝統、文化に対する知識を深めるとともに、観光ボランティアの活動に取り組めるよう、環境整備等を含め、検討していきます。



台東区議会区民クラブ

なる さわ たかし  
**成澤 敬**

### 保健・医療の危機管理について

**問** 昨年、都内の病院において、多剤耐性菌アシネトバクターによる院内感染が発生した。区立台東病院では、院内感染対策にどのように取り組んでいるのか。**答** 昨年、東京都から各病院に対し、対策の徹底が指示されました。区立台東病院では、院内感染対策委員会を開催し、職員研修を実施するとともに、対策マニュアルを整備し、これに沿った管理運営を行うなど、東京都からの指導に基づく予防対策に努めています。**問** 地球温暖化に伴い、感染症を媒介する蚊の生息域や生息期間の拡大、生息密度の増加が懸念されているが、区として対策を講ずるべきではないか。**答** 区では、毎年5月から10月までの期間、蚊の発生しやすい公園等を中心に、蚊の生息調査を実施し、環境に配慮した防除作業を実施しています。さらに、蚊が媒介する感染症の発生時に備え、緊急用の殺虫剤を備蓄しています。**問** 日本各地で野生の鳥から強毒性の鳥インフルエンザウイルスが発見されている。

不忍池や隅田川にも渡り鳥や水鳥が集まっており、ウイルス感染が懸念されることについて、どのように認識しているか。また、東京都との連携の状況について伺う。**答** 高病原性鳥インフルエンザへの対応は、野生鳥獣の保護を図り、都市における自然に親しむ環境を保全していく上でも大変重要な課題であると認識しています。不忍池や隅田川を所管する東京都とは、緊密な連携を図るため、関係部署と「台東区高病原性鳥インフルエンザ対策連絡会」を立ち上げ、野鳥に異変がないかなど、監視体制を強化するとともに、情報交換を行っています。

### 百歳の長寿のお祝いについて

**問** 区では、百歳の長寿のお祝いに記念品等を贈呈している。お祝いを届ける時には、その方法等を事前に確認しているとのことだが、ご本人やご家族に対し、よりきめ細かい配慮が必要ではないか。**答** お届けに際しては、事前に該当の方にお知らせし、個々の状況をお伺いしながら、具体的な日時等を決め、できる限り私が訪問し、お祝いしています。今後も、慶祝の気持ちが伝わるよう、百歳を迎えられた方やご家族の意向に配慮しながら、事業を行っていきます。



台東区議会公明党

こすげ ちほこ  
**小菅 千保子**

### 待機児童対策について

**問** 子育てしながら短時間就労を希望する方が増加し、保育ママのニーズが増える中で、従来の体制では、保育ママ一人にかかる負担が大きい。そこで、複数の保育ママによる共同保育事業の体制を整備すべきではないか。また、保護者の実情やニーズに対応した、短時間就労や求職活動中の方も利用しやすい「小規模保育室」を誘致すべきと考えるが、どうか。**答** 現在の家庭福祉員（保育ママ）制度は、家庭福祉員が一人で保育を行うため休暇が取りにくいことや、区内の住宅事情により新たに専用スペースを確保することが難しいなどの課題があり、新規の応募が増えないのが現状です。こうした課題を解決するためには、複数の家庭福祉員が相互支援を行う共同実施型の家庭的保育事業が有効と考えています。台東区保育所等整備計画にも対策

の一つとして位置づけており、実現に向けて前向きに検討していきます。また、小規模保育室には、求職活動中の保護者の保育需要に応えられるという特徴があります。本区への誘致については、一時保育事業などとの整合性を図りながら、総合的に検討していきます。

### 携帯やネット被害から子どもたちを守ることに

**問** 携帯電話やインターネットの有害サイトを通じてトラブルに巻き込まれる子どもが増えており、早急に対策を講じる必要がある。フィルタリングの利用率が100%になるよう目指すとともに、学校から保護者の方々に、ネット利用についての指導を徹底すべきである。トラブルに巻き込まれた場合の具体的な対処方法を身につける講習会等の充実・推進を図るべきと考えるが、どうか。**答** 小中学校で「セーフティ教室」を実施した後に、警察から保護者の方々に、フィルタリング等の有効性や携帯ネットの危険性について説明を行うとともに、保護者同士で情報交換を行うなどの啓発も行っています。今後さらにフィルタリング機能の利用率が上がるよう、家庭への協力を進め、トラブルの未然防止に取り組んでいきます。



日本共産党台東区議会議員団

あき ま ひろし  
**秋間 洋**

### 中小企業と地域経済対策について

**問** 区内中小企業の仕事を増やす対策として、⑦国の地上デジタル放送受信支援において、区内事業者が受注できる仕組みを作るよう提案してきたが、どう対応したか。また、住民税非課税世帯が区内事業者アンテナ設置工事

を発注した場合、助成を行ってはどうか。④住宅改修を地元業者に発注した場合に費用の一部を助成する制度があるが、本区でも実施してはどうか。⑤区民にかかわる仕事は、区だけではなく、国や東京都の事業においても区内事業者を活用すべきではないか。**答** ⑦これまでも国の地デジチューナー支援実施センターに区内事業者の活用を申し入れてきました。今後も申し入れていきます。また、区独自の個別助成については現在考えていません。④財政負担など多くの課題がありますが、地域経済の活性化などの観点から研究していきます。⑤区では、これまでも受注機会の拡大に努めてきました。国や東京都の事業についても、区内事業者の活用を申し入れていきま